

## 子どもを健やかに育むために「愛の鞭ゼロ作戦」

子育てをしていると、子どもがなかなか言うことを聞いてくれないとイライラすることもありますね。町の3歳児健診(平成28年度)の問診で感情的な言葉で怒鳴った、叩いた等と回答された方の割合は23.1%でした。

子育てにおいてしつけと称して叩いたり怒鳴ったりすることは、子どもに悪影響を及ぼす可能性があります。最初は愛の鞭のつもりでも、虐待へエスカレートしてしまつこともあります。

厚生労働省は「愛の鞭ゼロ作戦」として、体罰や暴言による愛の鞭を捨てることを呼びかけています。

### 子育てに体罰や暴言を使わない

「愛の鞭」と親が思つても、子どもにとつて大人から叩かれることはとても怖いことです。ちよつと叩かれたり、怒鳴られただけでも心に大きなダメージを受けることもあります。

「叩かない怒鳴らない」と心に決めましょつ。

### 子どもが親に恐怖を持つとSOSを伝えられない

親に恐怖を持った子どもは、親に気に入られるように行動するようになりま

す。また、恐怖を持つ親に対しては、子どもが心配事を打ち明けられなくな

ります。心配事を相談できないといじめや非行など、より大きな問題に発展してしまつ可能性もあります。

### 爆発寸前のイライラをクールダウン

子どもが言うことを聞いてくれないときに、イライラすることは誰でもあること。イライラが爆発する前に、クールダウンするための自分なりの方法を見つけておきましょう。深呼吸する、数を数える、窓を開けて風に当たるなど。

### 親自身がSOSを出そう

育児の負担を一人で抱え込まずに家族に分担してもらつたり、保健センターやNPO、企業などの様々な支援サービスの利用を検討しましょう。

### 子どもの気持ちと行動を分けて考え、育ちを応援

子どもに「イヤ」と言われたとき、戸惑つこともあるでしょう。2、3歳の子どもは「イヤ」は自我の自覚めで成長の証しです。子どもの考えを引き出し、必要に応じて助け舟を出しながら、言い分を気長に聞きましょつ。

(健康福祉課 保健師)

## 学校コーナー

# 今年で30年目になる 五霞っ子体験・ 交流教室



五霞東小学校

7月24日から26日まで、西小学校と合同で、5年生が、千葉県九十九里町に行きました。かけがえのない経験ができ、その一部をご紹介します。

### 「思い出たくさんの九十九里」

5年 松本 咲衣

海のそばにある民宿だったので、朝、目が覚めると波の音が聞こえてきました。海辺まで朝の散歩をし、きれいな貝やキラキラした水平線を見ることができて、とても感動しました。

塩づくり体験や漁港見学では、現地の人たちにいろいろな事を教えてもらい、たくさんの発見があつて、勉強になりました。マイナス30度の魚を入れる冷凍庫に入ったことも印象に残りました。協力し合つて楽しく過ごした二泊三日はとてもいい思い出となりました。

### 「体験交流教室で学んだこと」

5年 鈴木 穂

私は、五霞っ子体験交流教室で、人とのつながりを学びました。初め

て出会う人達と初めての体験をするということは不慣れでした。でも、塩作りを一緒に体験していくうちに、いつの間にか仲良くなつていました。一緒に笑つて、一つの物を作る。ずっと不思議だなあと思つていたけど、この気持ちの人が人とながる事なのだと思ひました。この出会いは私の中でずっと忘れずに残ります。人とのつながりを、これからもたくさん学んでいきたいと思ひます。

### 「九十九里で楽しかったこと」

5年 鈴木 陽仁

ぼくは、九十九里に行つて楽しかったことが三つあります。

一つ目は、五霞西小学校との交流です。東小と西小は距離があり、会うことがあまりなかったですが、このおかげで西小学校との交流が深まったと思ひます。

二つ目は、班別行動です。トランプやきもだめし、スイカ割りをやつたことで、友情がより深まったと思ひます。

三つ目は、海で遊んだことです。ぼくは海に入ったことも遊んだこともなかったのです。ちよつと恐かつたけれど、初めての海はすく楽しかつたです。

